

# 時計 Begin

WINTER 2004

定価700円(税込)

実力と納得価格で選ぶ  
スーパーリアルウォッチ

# 36本

- ・ベダ&カンパニー「No.7」
- ・モンブラン「タイムウォーカー」
- ・セイコー「ブライツ」
- ・ラドー「ダイヤモンド」
- ・ホール・ピコ「マジェスティック・グランドトノー・フルカレンダー」
- ・ダンヒル「エキセントリック」
- ・ブライトリック「クロノ・スーパーオーシャン」
- ・ブルガリ「ディアゴノプロフェッショナル スクーバダイビング2000m」
- ・アンダー100万円のトゥールビヨンを徹底解剖

お尋ね時計

# 31本

WANTED!

日本全国のショップが血眼で追う  
千載一遇の入手困難モデル

# 全国指名手酷 ウォッチを捜

生涯所有する腕時計の価値を求めて

## 百年時計の条件

### ルイ・ヴィトン「タンブール」 2003年新作、ついに上陸!

各界の時計通にきいた「私の選んだベスト3」

### 2003年時計グランプリ

## My Watch History

## パテックRef.2499に 魅せられたワイン醸造家

### カ・デル・ボスコ社長 マウリツィオ・ザネッラ氏

ローマ時代には「ワインの国」と呼ばれたイタリア。数多い名産地のなかでも注目を集めているのが、仏シャンパーニュと比肩するフランチャコルタであり、高級スパークリングワインのカ・デル・ボスコだ。大の時計好きで知られるザネッラ社長に話を聞いた。

#### マウリツィオ・ザネッラ氏

15歳の時にワイン醸造に出会い、その魅力の虜になる。以来、醸造学や栽培方法などを学び、カ・デル・ボスコを世界的な高級スパークリングワインに育て上げた。47歳。



アンティークの魅力は  
ワインにも似ています

1960年代後半にフランチャコルタでカ・デル・ボスコは高級スパークリングワインの醸造をスタートした。社長のマウリツィオ・ザネッラ氏は、戦後から60年代にかけて壊滅的な状態にあったイタリアンワインの復興を成し遂げた立役者の一人である。そしてワインに負けず劣らず、趣味の時計収集にも熱い情熱を注ぐ。

16歳の時、両親からロレックスのサブマリナーをプレゼントされてから時計の魅力に開眼した。

「時計はほとんどオークションや蚤の市で手に入れます。アンティークに魅かれるのは手巻きや自動巻きのメカ、そしてひとつしかない芸術作品のような価値ですね。それはワインの魅力にもとても似ていると思います。」

いまつけているのもそうして手に入れた一本という。見て仰天、わずかし

か作られなかったパテック フィリップのRef.2499である。「26歳の頃、貯金をすべて使い果たして買いました。これと同じタイプのRGケースをもう一本持っています。それ以外ではロレックスのデイトナを3本、パブルバックを2本など、価値のあるのは20本弱ですね」

だったという。しかし現在の推定価格は2000万円はくだらない。はたして上手な買い方とはどんなものか。「選び方のコツとしては値段を気にしないこと。高いからいいということではなく、自分のテイストをまず信じてみる。モデルについてはカタログで調べてから、マーケットに足を運びます。品質と限定数を重視することも大

切ですね。アンティークのほうが新品よりも価値があると思いますし、買うこと自体が面白いですよ」

時計談義に華が咲き、しまいにうっかり社長自ら「シャンパン・ゴールド」なんてライバル会社の名を口走ってしまった。その瞬間、しまった!と照れ笑いを湛えるザネッラ氏。正しくは「フランチャコルタ・ゴールド」ですよ。

### パテック フィリップ パーベチュアルカレンダー・ ムーンフェイスクロノグラフ Ref.2499

1950年から'85年までに350本弱しか作られなかった。クロノグラフだけをキャリアーに搭載したモデルもあるが、それも280本程度で、トータルしても約630本という希少なマニア垂涎モデルである。ザネッラ社長はクリスティーのオークションで手に入れたそうだ。

